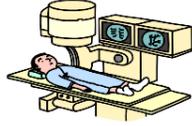


経皮的血管形成術(6日コース)を受ける患者さんへ

【患者さん用クリニカルパス】

ID: _____ 患者氏名: _____ さん

経過	入院日 (経皮的血管形成術前日)	入院2日目	入院3日目	経皮的血管形成術当日 (治療前)	経皮的血管形成術当日 (治療後)	5日目 (治療後1病日)	6日目 (退院日)
日付	月 日 ()	月 日 ()	月 日 ()	月 日 ()		月 日 ()	月 日 ()
目標	治療の内容が理解でき、 検査・治療を受けることができる。	治療の内容が理解でき、 検査・治療を受けることができる。	治療の内容が理解でき、 検査・治療を受けることができる。	予定通りに治療が終了することができる。		合併症出現なく経過できる。	退院指導の内容がわかる。
	<ul style="list-style-type: none"> 医師より治療の説明を行います。 看護師が入院生活および治療の説明を行います。(説明後、承諾書を記入し、提出して下さい) (医師・看護師の説明でわからないこと、心配なことがあれば何でもお話し下さい) 御希望により、栄養指導・服薬指導が受けられます。 	医師・看護師の説明でわからないことがあれば何でもお話し下さい	医師・看護師の説明でわからないことがあれば何でもお話し下さい	治療中ご家族の方は病棟でお待ちください。 			<ul style="list-style-type: none"> 退院指導を行います。 医師から検査の経過と今後の内服などについて説明があります。(治療直後に行くこともあります) 退院後の生活で、不安な点があれば遠慮なくお聞きください。
治療 処置	<ul style="list-style-type: none"> 身長・体重を測ります。 体温・脈拍・血圧を測ります。 足背の動脈と大腿の動脈の拍動を観察し印をつけます。 手首の動脈(正中・橈骨)の拍動を観察し印をつけます。 治療に必要な部位(橈骨または大腿)を必要時除毛します。 		足から治療する場合 手首・肘から治療する場合	<ul style="list-style-type: none"> 治療前に点滴を開始します。 治療の前に排尿し、検査着に着替えます。 	<ul style="list-style-type: none"> 点滴を継続します。 点滴を継続します。 手首からカテーテルを挿入した場合はバンドで固定します。 肘からカテーテルを挿入した場合は副え板をして包帯固定します。 	<ul style="list-style-type: none"> カテーテルを入れた部位の消毒を行います。 治療翌日に採血と四肢血圧脈波検査を行います。 症状がなければ留置針を抜去します。 	カテーテルを入れた部位の消毒を行います。
検査	<ul style="list-style-type: none"> 採血・胸部X線撮影・心電図の検査を行います。 心臓超音波検査、四肢血圧脈波検査を行うこともあります。 						
生活 行動	生活に制限はありません。 			ベッドで1階のカテーテル検査室へ向かいます。	<ul style="list-style-type: none"> 治療後はベッド上で安静にしてください。 治療後は、6時間たてばトイレまで歩くことができます。 		
清潔	毛を剃った後、入浴またはシャワー浴ができます。 					傷の状態に異常がなければ入浴できます。	傷の状態に異常がなければ入浴できます。
食事	治療食となります。(カロリー・塩分制限) 水分に制限はありません。			<ul style="list-style-type: none"> 午前治療は朝食が出ません。 午後治療は昼食が出ません。 	治療後、吐き気がなければ 飲水・食事をすることができます。		
内服薬	今まで飲んでいた薬を変更することがあります。						退院時内服処方が必要に応じ出ることがあります。
観察					<ul style="list-style-type: none"> カテーテルを入れた所の出血の有無を確認します。 止血用のバンドがきつすぎないか確認します。 帰室後1時間毎に3回、体温・脈拍・血圧・橈骨動脈の拍動の観察を行います。 		
その他	治療の状況により、両側の足の付け根の動脈からの治療になる可能性もあります。 				治療終了後、造影剤を早く排泄するために、水分(お茶・水)を多めにとりましょう。		
備考							

注) 予定は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わることがあります。